SEQUENCE INTELLIGENT PANEL

SIP16

SIP16-985/970/950　差分マニュアル

Produced by

株式会社 たけびし　TAKEBISHI

【改訂履歴】

日付	登録番号	改訂内容
2010/09/29	S10035D-※-(1)	初版

目次

1 まえがき 1-1

2 SIP985 シリーズからの変更点 2-1

2.1 設備／機器構成 2-1
2.1.1 構成パーツの差異 2-1
2.1.2 適合コントローラの差異 2-2
2.1.3 関連ソフトウェアの差異 2-3

3 SIP985 シリーズ画面データの流用 3-1

3.1 既存画面データの GOT タイプ変換 3-1
3.2 既存 SIP985 シリーズ画面の流用 3-3

1 まえがき

本書は操作盤 SIP16-985 シリーズに関して、従来製品である SIP985/900/870 シリーズ、SIP-MINI からのデータ流用変更店や注意点について記載しています。
また、SIP16-985 シリーズの機能につきましては SIP985 シリーズと互換性を持たせております。
尚、SIP16-985 シリーズの各ハードウェアの基本的取扱に関しては GOT1000 シリーズの各該当機種のユーザーズマニュアルを参照して下さい。

<関連資料>

・GOT1000 シリーズ 接続マニュアル(三菱電機発行)
・GOT1000 シリーズ 拡張機能・オプション機能マニュアル(三菱電機発行)
・GT16 本体 取扱説明書(三菱電機発行)
・GT15 本体 取扱説明書(三菱電機発行)
・SIP16-985 基本設計要領書
・SIP16-985 デバイスマップ
・SIP16-985 リファレンスマニュアル

2 SIP985 シリーズからの変更点

2.1 設備／機器構成

SIP16-985 シリーズと SIP985 シリーズとの機器構成の差異について記述します。

2.1.1 構成パーツの差異

【SIP16-985】

名称	SIP985	SIP16-985	備考
表示器本体 (ビデオ入力なし)	A985GOT-TBA-V	GT1685M-STBA	
表示器本体 (ビデオ入力あり)			
通信 I/F	A9GT-J71E71-T A9GT-QBUSS A9GT-QBUS2S	GT15-QBUS GT15-QBUS2	Ethernet 用 I/F は本体に標準装備しています。
メモリーボード	A9GT-QFNB4M	なし	GT16 では回路モニタ使用時にメモリーボードが不要です。標準メモリも 15MB 内蔵しています。
CF カード	A9GTMEM-10MF	GT05-MEM-128MC	
ビデオ入力インタフェース	A9GT-80V4	GT16M-V4	
プリンタ	標準パラレルポート	GT15-PRN	GT16 には標準パラレルポートが装備されていません。 プリンタ使用時はプリンタユニット(GT15-PRN)が必要です。また、別途プリンタ OS をインストールする必要があります。

【SIP16-970】

名称	SIP985	SIP16-985	備考
表示器本体	A970GOT-TBA-B	GT1675M-VTBA	
通信 I/F	A9GT-J71E71-T A9GT-QBUSS A9GT-QBUS2S A9GT-BUSS A9GT-BUS2S	GT15-QBUS GT15-QBUS2 GT15-ABUS GT15-ABUS2	Ethernet 用 I/F は本体に標準装備しています。
メモリーボード	A9GT-QFNB4M	なし	GT16 では回路モニタ使用時にメモリーボードが不要です。標準メモリも 15MB 内蔵しています。
CF カード	A9GTMEM-10MF	GT05-MEM-128MC	
プリンタ	標準パラレルポート	GT15-PRN	GT16 には標準パラレルポートが装備されていません。 プリンタ使用時はプリンタユニット(GT15-PRN)が必要です。また、別途プリンタ OS をインストールする必要があります。

【SIP16-950】

名称	SIP985	SIP16-985	備考
表示器本体	A951GOT-QTBD A953GOT-TBD A950GOT-TBD A951GOT-TBD	GT1550-QLBD	
通信 I/F	A9GT-QBUSS A9GT-QBUS2S A9GT-BUSS A9GT-BUS2S	GT15-QBUS GT15-QBUS2 GT15-ABUS GT15-ABUS2	Ethernet 用 I/F は本体に標準装備しています。
メモリーボード	A9GT-QFNB4M	なし	GT15 では回路モニタ使用時にメモリーボードが不要です。標準メモリも 9MB 内蔵しています。
CF カード	A9GTMEM-10MF	GT05-MEM-128MC	
プリンタ	標準パラレルポート	GT15-PRN	GT15 には標準パラレルポートが装備されていません。 プリンタ使用時はプリンタユニット(GT15-PRN)が必要です。また、別途プリンタ OS をインストールする必要があります。

2.1.2 適合コントローラの差異

項目	SIP985/900/870 シリーズ、SIP-MINI	SIP16-985 シリーズ
三菱電機 MELSEC-Q シリーズ	QnCPU、QnHCPU *1	QnCPU、QnHCPU、QnUCPU *1
三菱電機 MELSEC-A シリーズ	<SIP16-985/970> AnNCPU AnACPU/AnUCPU *2 <SIP16-950> AnNCPU AnACPU/AnUCPU/AnSCPU A173(UH)CPU/A273(UH)CPU *2	<SIP16-985/970> AnNCPU AnACPU/AnUCPU *2 <SIP16-950> AnNCPU AnACPU/AnUCPU/AnSCPU A173(UH)CPU/A273(UH)CPU *2

※1 A モードタイプは除く
※2 AnNCPU はソフトウェアバージョンに制約があります。
・リンク機能あり L 以降
・リンク機能なし H 以降

2.1.3 関連ソフトウェアの差異

使用する S/W に差異はありませんが、SIP16-985 シリーズに対応したバージョンに注意してください。

名称	型式	メーカー	備考
画面作成 S/W	GT Designer2 Version2	三菱電機	対応 Version：2.105K 以降
PLC ラダー作成 S/W	GX Developer Version8	三菱電機	対応 Version：8.68W 以降

注：GT Designer3 は対応しておりません。

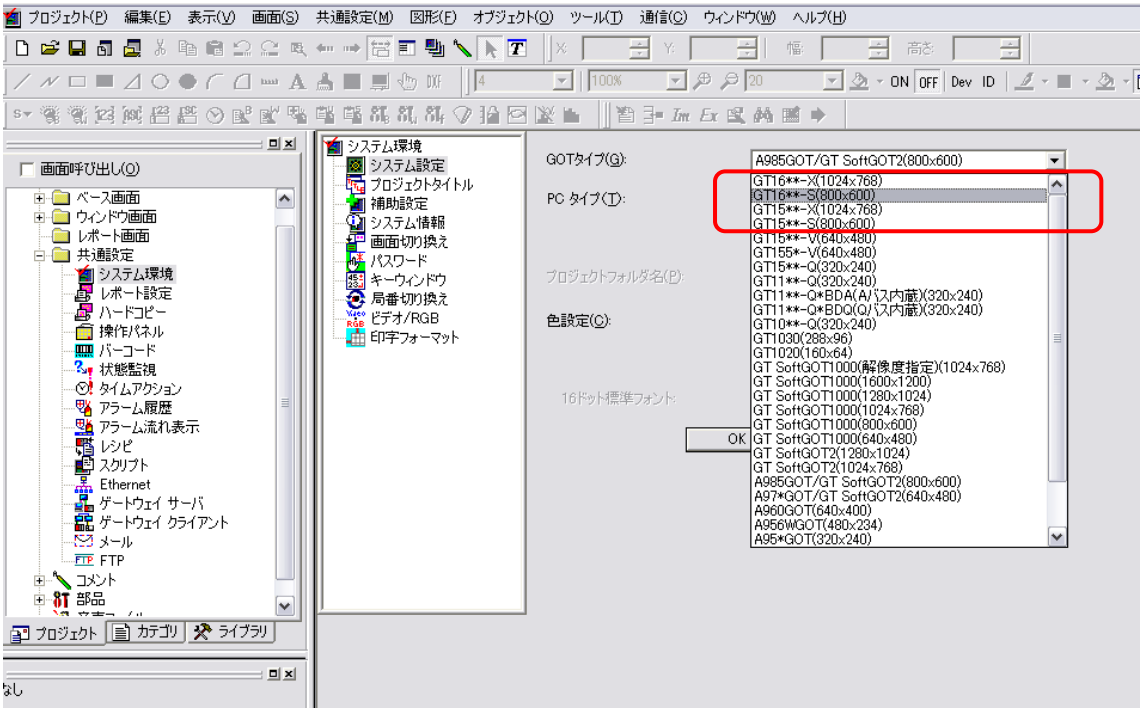
3 SIP985 シリーズ画面データの流用

本章で記載する SIP985 シリーズ画面データの流用は、SIP16-985 シリーズのテンプレート画面をベースとして、既存の SIP985 シリーズの画面データを流用(オブジェクトの貼り付け、不一致箇所を修正するなど)することを前提にして記載しております。

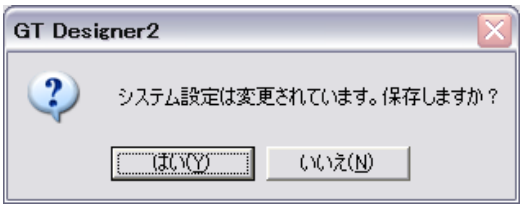
3.1 既存画面データの GOT タイプ変換

SIP16-985 シリーズのテンプレート画面へ既存画面データを貼り付けたりする際の前準備として、既存データの GOT タイプ変換を行います。
(GOT タイプが異なる場合、コピー＆ペーストなどでオブジェクトを貼り付けできないため)

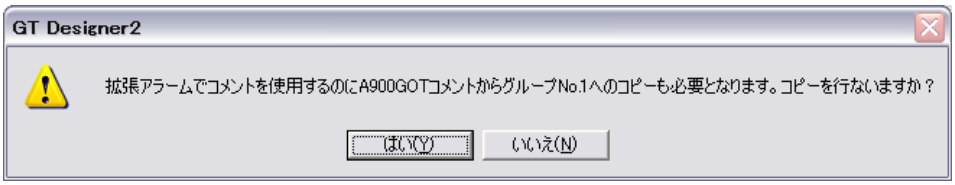
＜変換手順＞
・既存の SIP985-WEP の画面プロジェクトを GTDesigner2 で開きます。
・「共通設定」-「システム環境」-「システム設定」を選択し、
SIP985 の場合 GOT タイプを「GT16＊＊－S(800×600)」、SIP970 の場合「GT16＊＊-V(640×480)」、
SIP950 の場合「GT15＊＊-Q(320×240)」を選択します。



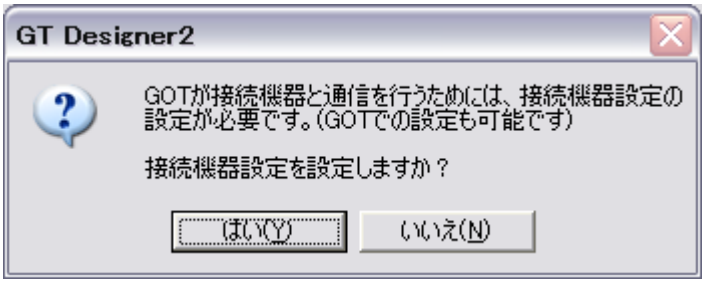
「適用(A)」ボタンを押下すると以下の確認ウィンドウが表示されます。



「はい(Y)」を選択すると自動的にプロジェクトデータの変換が実行されます。
変換途中で以下のコメントコピー確認のメッセージが表示されるので、はい(Y)を選択します。



変換完了後、以下の接続機器設定の設定メッセージが表示されるので、「いいえ(N)」を選択します。



これで、SIP985 シリーズから SIP16-985 シリーズへの本体タイプの変換が完了しました。
次項以降にて、SIP16-985 シリーズのテンプレート画面に変換した画面データを流用する項目や手順について記載します。

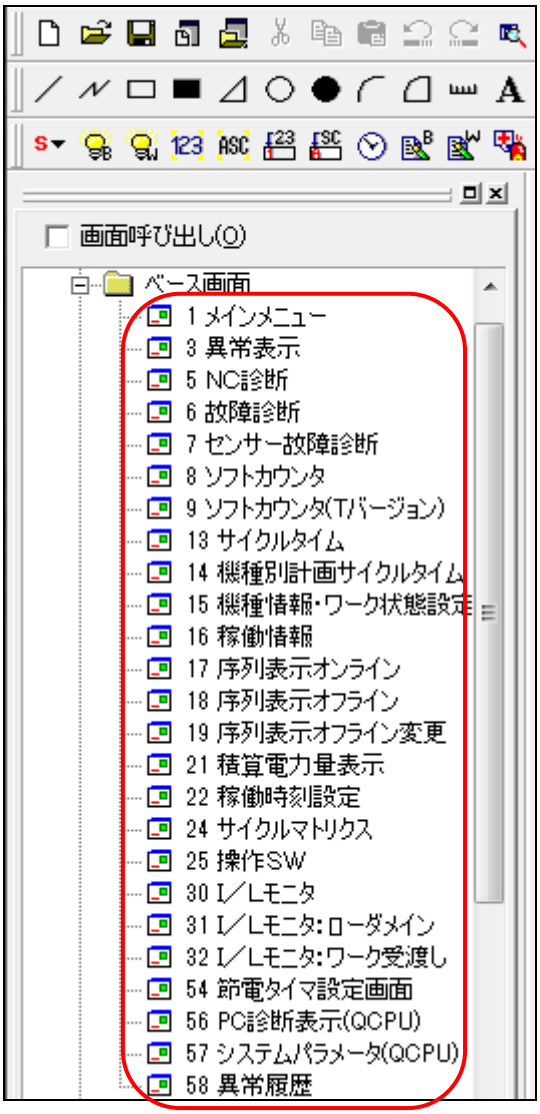
3.2 既存 SIP985 シリーズ画面の流用

本節では、対象設備に必要な画面を確認し、テンプレートに無い画面や足りない画面(手動操作の複数画面など)を既存 SIP985-WEP 画面データから GT Designer2 上に追加する(流用する)手順を記載します。

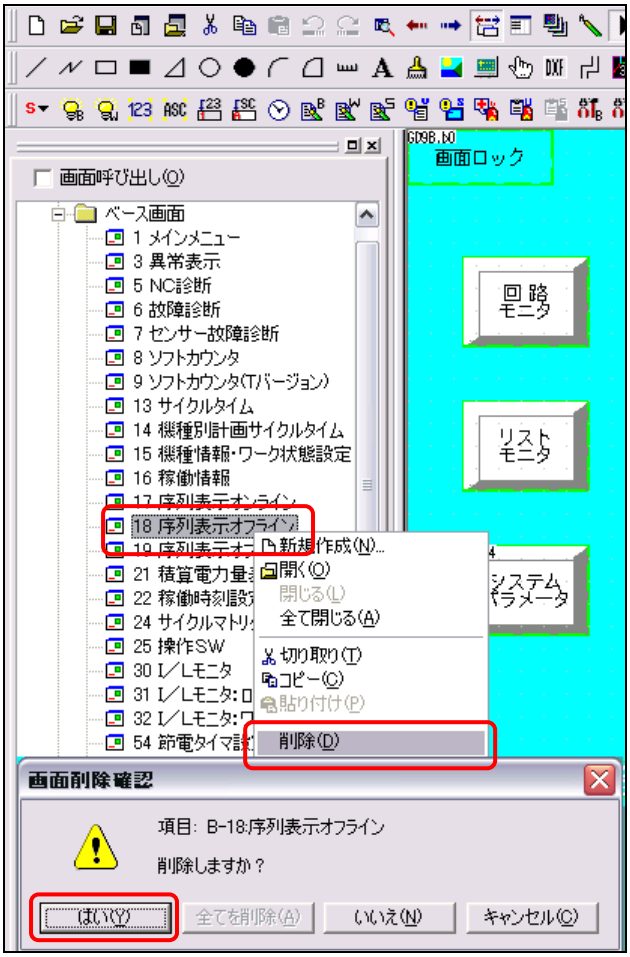
＜手順＞

・GT Designer2 を起動し、SIP16-985 シリーズのテンプレート画面を開きます。

・テンプレートに実装されている画面群を確認し、設備に必要な画面を確認します。

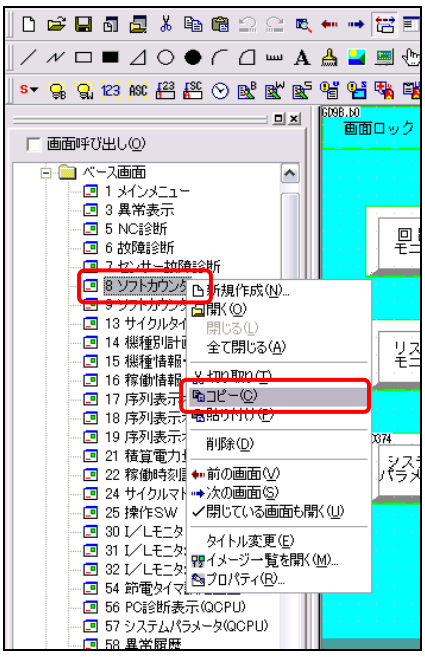


・不要な画面がある場合は、プロジェクトから削除します。



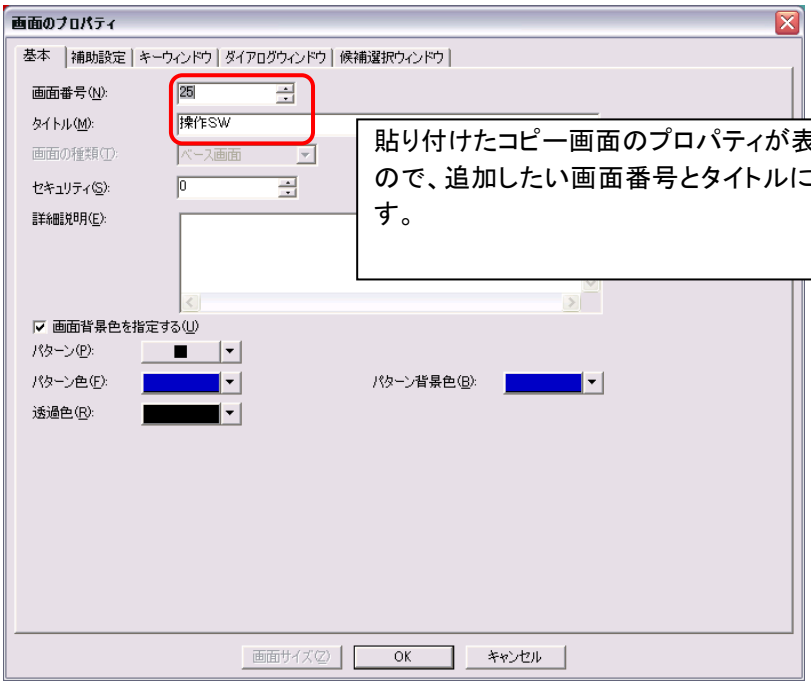
① 不要な画面を選択し、右クリックでポップアップメニューを開きます。
② 削除(D)を選択し、はい(Y)をクリックします。
③ 画面が削除されます。

・テンプレートに無い画面を SIP985 シリーズの既存画面から追加する場合は、まずベースとなる画面を作成します。作成方法は、テンプレート画面をコピー＆ペーストして該当する画面データにスイッチなどのオブジェクトに置き換えると簡単です。

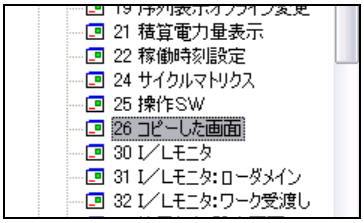


① 元となるテンプレート画面を右クリックし、ポップアップメニューを開きます。
② コピー(C)を選択しします。
③ クリップボードにコピーされます。

① テンプレート画面リスト上で右クリックし、ポップアップメニューを開きます。
② 貼り付け(P)を選択しします。

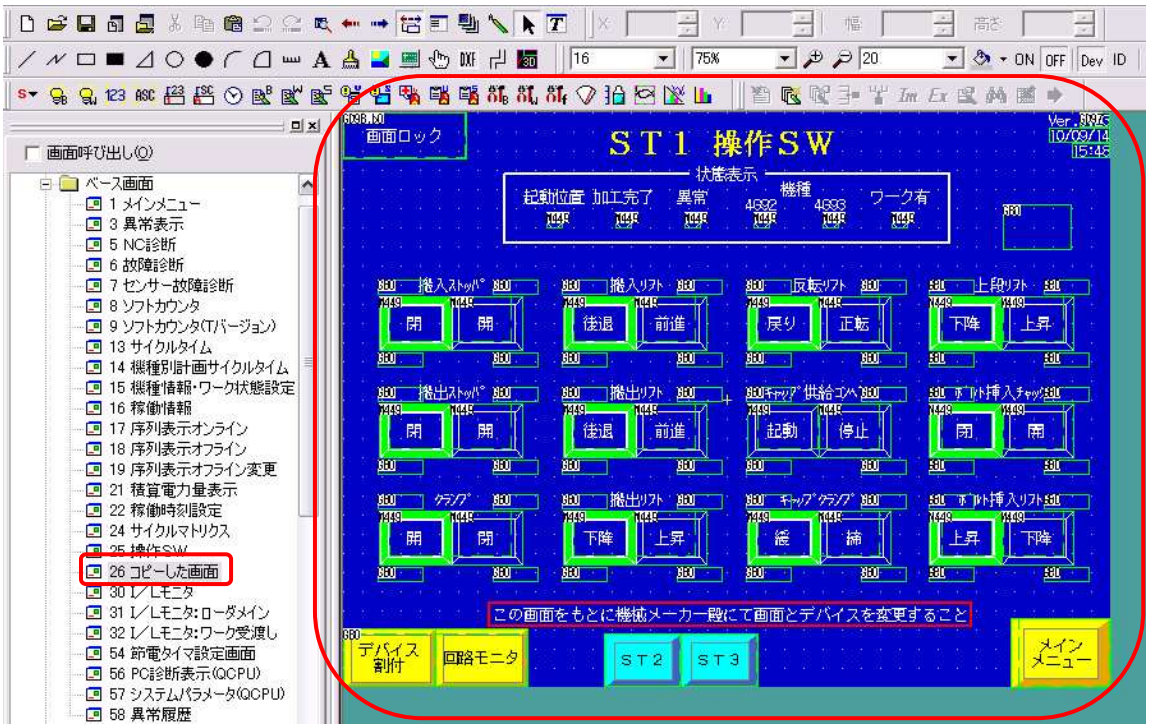


貼り付けたコピー画面のプロパティが表示されるので、追加したい画面番号とタイトルに変更します。

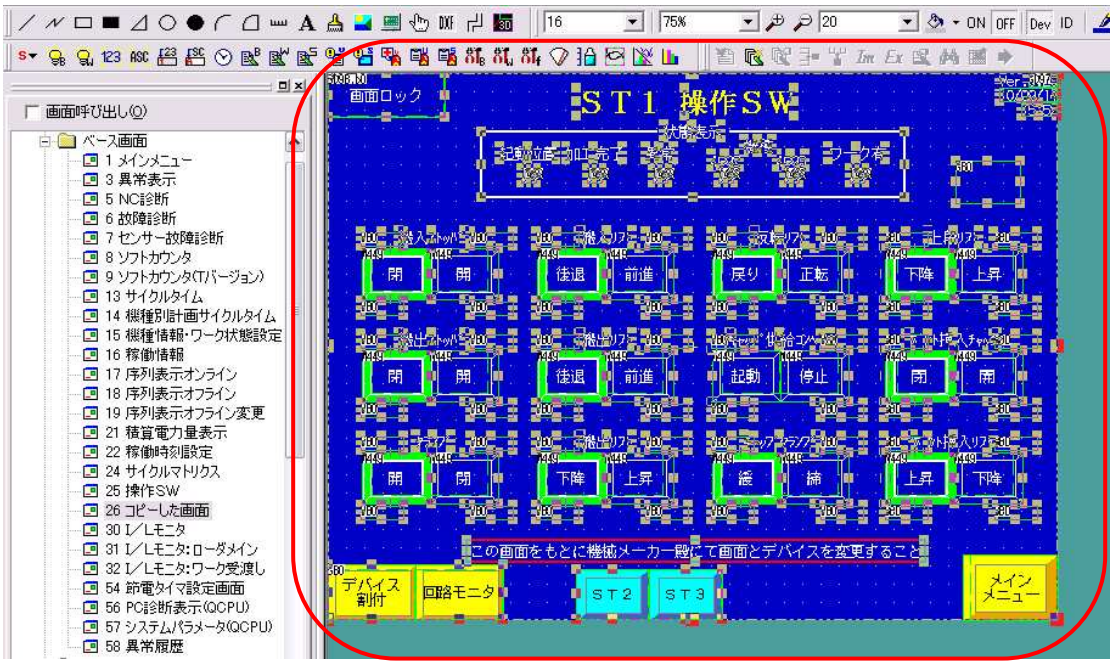


画面が追加されます。

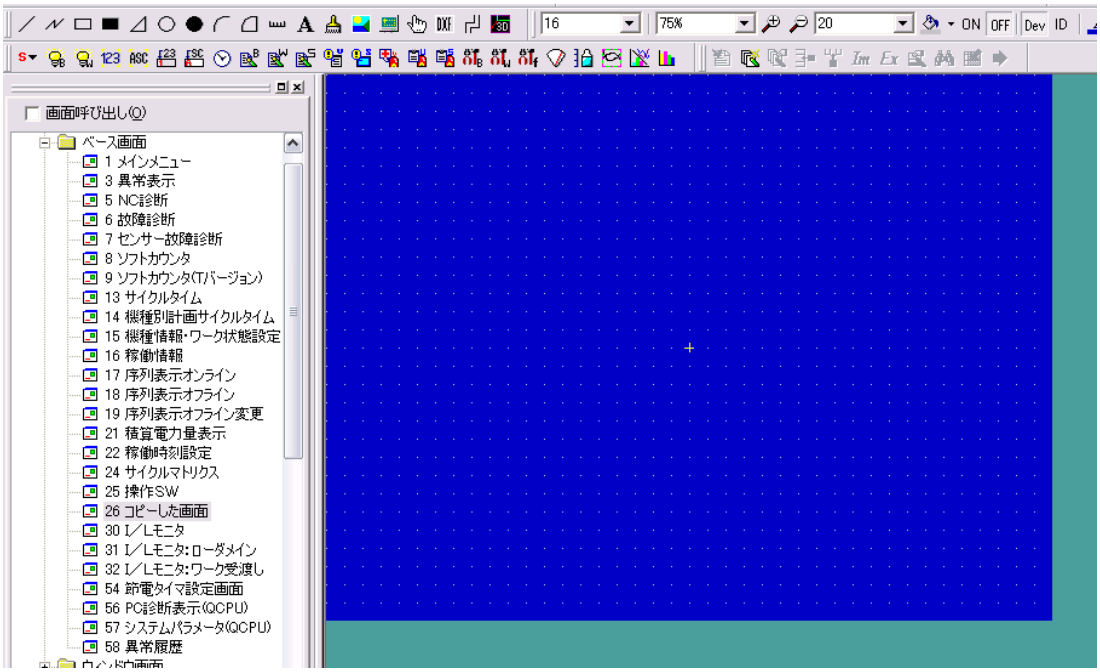
・コピーして追加した画面を開きます。



・画面上のタイトルや遷移ボタン以外の各画面固有箇所をマウスで全選択します。

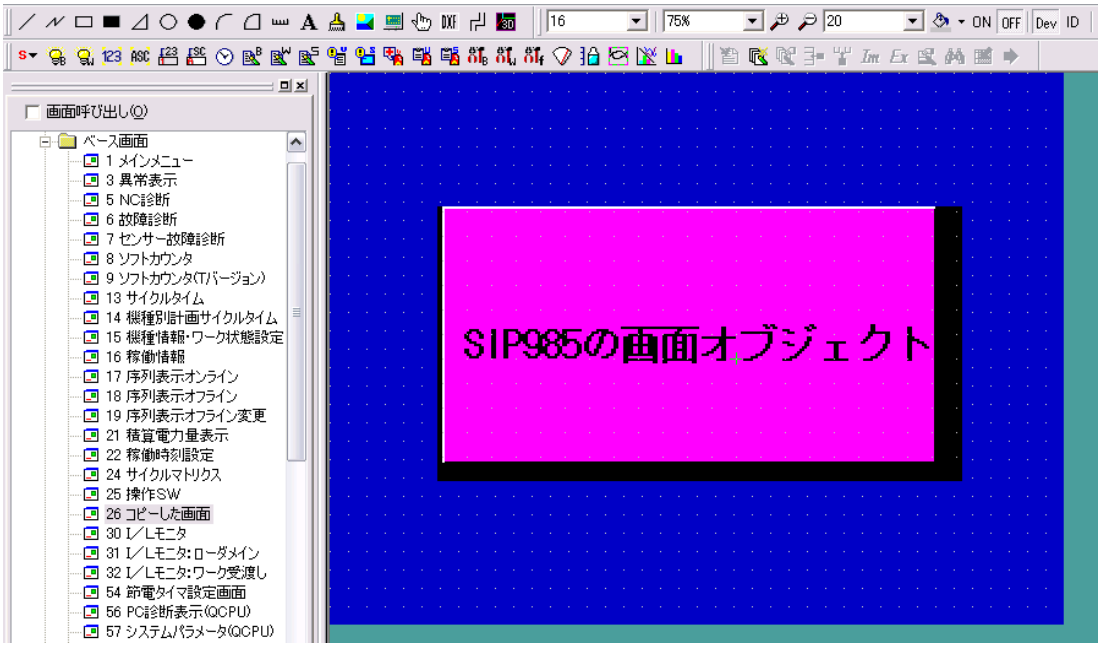


・Delete キーを押下し、オブジェクトを削除します。



これで、既存画面のオブジェクトを貼り付けて流用するベース画面ができました。

・既存の SIP985-WEP の画面からコピーしたオブジェクトを、前頁の画面に貼り付けます。



これで、既存データを流用した画面の作成が完了しました。

SEQUENCE INTELLIGENT PANEL

SIP16

SIP16-985/970/950 差分マニュアル

株式会社たけびし

〒615-8501 京都府京都市右京区西京極豆田町 29
営業窓口 :(075)325-2221
技術窓口 :(075)325-2171

登録番号	S10035D-※-(1)

Produced by

株式会社 たけびし TAKEBISHI